

申3号

「車掌業務の安全・サービス等」に関する申し入れ!

安全で働きやすい環境を整え
お客さまの求めるサービスを確立しよう!

2011年3月11日、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から1年5ヶ月が経過しました。就業中の組合員のみならず、お客さまの死傷者を出さなかった教訓は、現場の判断が的確であり、職場の力が発揮されたからに他なりません。

しかし、現実としては緊急停車した列車からお客さまを救済するにあたり、様々な問題点が浮き彫りになっています。また、現場第一線で直接お客さま対応する車掌は、より良いサービスを提供するために日夜奮闘しています。

安全で快適な移動空間を提供する業務が車掌業務と考えます。より一層、お客さまに喜ばれ信頼される鉄道輸送を完遂するためにも、現場の声を反映させ、安全確保とサービスの向上、車掌の働く労働環境改善に向けて申し入れを行いました。

◆申し入れ事項

1. 東日本大震災の教訓をもとに、お客さまを速やかに救済するための設備を整えると共に、乗務員に対する教育・訓練の充実をはかること。
2. 2013年度から使用開始となる車内補充券発行機の仕様を明らかにすること。
また、導入に際しては、小型・軽量化をはかり使い易くすると共に、S u i c a 機能を充実させること。
3. 新幹線車掌の制服は在来線車掌と同様にし、盛夏期間中はクールビズとすること。

東日本大震災の検証運動と連動させ、
安全風土を高めよう!